

# ゆりかごワクワク通信

令和7年度1月



社会福祉法人三田谷治療教育院

明石市立ゆりかご園

〒674-0051 明石市大久保町大窪2752

TEL. 078-918-5574 FAX. 078-918-5579

E-Mail : yurikago@sandaya.or.jp



## 東川園長ごあいさつ 家族と過ごす、あたたかなクリスマス会



12月のある日、当センターでは父母と一緒に、にぎやかなクリスマス会を開きました。子どもたちは、ゲームや歌、ダンスに笑顔をはじけさせ、会場は笑い声と拍手でいっぱいに。サンタクロースも特別に訪れてくれ、一人ひとりにプレゼントを手渡してくれると、子どもたちの目はキラキラと輝いていました。

この日、私たちは改めて「家族と過ごす時間」の大切さを感じました。子どもたちが安心して自分らしく過ごせるのは、家族のあたたかなまなざしと支えがあるからこそ。家族が一緒に笑い合う姿や、保護者の方々が子どもたちの成長を見守る表情に、私たち職員も胸が熱くなりました。

今回の会に合わせて、年齢に応じたクリスマスの絵本をご紹介します。

0~2歳のお子さんには、キラキラ光るカバーが目を引く『ツリーさん』（講談社）がおすすめです。やさしい言葉とあたたかな絵が、初めてのクリスマスにぴったりの一冊です。

3~4歳のお子さんには、『100にんのサンタクロース』（文溪堂）を。たくさんのサンタさんたちが大活躍する様子に、子どもたちも夢中になることでしょう。

5歳以上のお子さんには、『もみのき そのみを かざりなさい』（アノニマ・スタジオ）を。静かで美しい物語が、クリスマスの本当の意味をやさしく語りかけてくれます。

どの絵本も、家族でページをめくる時間が、きっと心に残る贈り物になるはずです。寒い季節だからこそ、ぬくもりあふれるひとときを、絵本とともに過ごしください。

これからも、子どもたちとご家族が笑顔で過ごせる時間を大切に、私たちも寄り添ってまいります。寒さの中にも、心あたたまる冬となりますように。



## ゆりかご運動会in明石養護～みやくみやくぽん～

今年度は「みやくみやく」さんと大阪万博をテーマにした運動会を開催しました。

アメリカ、日本…ん？アゼルバイジャンチーム！？と思われた方もおられたと思われます。私のうんちくに耳を傾けてくださいありがとうございます！（笑）私自身は準備係の一員として上手くできるのか運動会前夜は緊張して眠れませんでした。

当日はご家族の皆さん朝早くからさわやかにお集まりいただき、そして最後まで盛り上げて下さいありがとうございました。お陰様でゆりかご園での運動会が初めてのお子さんから最後のお子さんまで一緒に力を合わせる姿を見て頂き一人ひとりの成長を感じる一日でした。また今年度は明石養護学校の体育館をお借りした初の運動会でした。お子さんが新しい場所に戸惑うことなく過ごせたことも、ご家族の支えがあってこそ安心して頑張れたことだと思います。この場をお借りして明石養護学校長はじめ全てのご協力を頂いた方に心よりお礼申し上げます。

（十田）



## ARTSHIP明石2025～それぞれの思いを形に～

12月3日～9までの期間、明石市立文化博物館にてARTSHIP明石2025が開催され、ゆりかご園も作品を出し参加しました。今年もお子さまの「自己選択」「自己表現」を大切にしながら取り組んできました。大人の手はなるべく加えず、好きな色、好きな方法・遊び方で作品作りを通して自由に自分を表現してもらいました。お子さまそれぞれの方法で一つ一つ違った素敵な作品が出来たと思います。

ARTSHIPの当日は会場のスタッフとして参加させてもらったのですが、「絵の具のみで楽しそう」と来場された方の声を聞かせてもらうことができました。

今後もアートを通して、自由に表現する中でお子さまの「たのしい」を増やしていくべきだと思います。保護者の皆さま、ご協力ありがとうございました。（真田）



## クリスマス会

ゆりかご園では12月16・17日の2日間でクリスマス会をしました。クリスマスの音楽に合わせて踊ったり、楽器を鳴らして保護者の方やお友だちとの時間を楽しみました。今年のペーパーサークルはおべんとうバスのクリスマスバージョンでした。職員の歌に合わせて登場するかわいいクリスマスの飾りのイラストをじっくり見て楽しんでおられました。

その後は一足早くサンタさんにプレゼントをもらいました。初めてのサンタさんに誰だろうとじっと観察するお子さまや嬉しそうに手を振るお子さまなど様々でした。クリスマス会の経験があるお子さまの中には鈴の音が聞こえると期待した表情で待ったり、じっとサンタを見て嬉しそうにプレゼントを受け取るなど昨年とは違った姿をみることができました。お子さまの成長と毎年の積み重ねの大切さを感じられる瞬間でした。（大崎）



## 退職者挨拶



この度、12月末日をもちまして、ゆりかご園を退職することとなりました。私自身、いたらない点が多々あったかと思いますが、保護者の皆さまにはいつも温かく応じていただきました。また、お子様にも、毎日癒しと元気をいただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。退職はいたしますが、保護者の皆様、お子様のこれから成長と幸せを陰ながらお祈りしております。ありがとうございました。

山本 貴世